

# 熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町  
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス  
NPO法人はとやま環境フォーラム気付  
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX 049-227-3068 ホームページ <https://hatoyama.info/>

## 5月・6月の活動予定

### ■第20回「エコフェスタ比企in鳩山」に出店を

第20回 エコフェスタ比企 in 鳩山  
日時 5月24日(土) 10時~14時  
会場/かわせみハウス前緑道  
運営/エコフェスタ比企実行委員会  
主催/NPO法人はとやま環境フォーラム 電話 049-227-3001

掘り出し物バザール・手作り小物・雑貨  
新刊本古本市・有機野菜販売・花苗  
パン・菓子・熊井の森自然写真展

出店 募集中  
どなたでもどうぞ  
ご連絡ください

5月24日(土)に、第20回エコフェスタ比企in鳩山を開催します。今回はハト麦健康茶の試作品の試飲コーナーを充実させ、モニター意見を参考に秋に収穫し商品化する際の参考にさせていただきます。会員の方で、何か売りたいものがありましたら、是非、出店をお願いします。

### ■環境フォーラム会員同士の第1回定例懇談会

5月11日(日)より、環境フォーラムの会員同士が顔を合わせて、いろんな話題で自由におしゃべりをする懇談タイムを、原則、毎月第2日曜日の午後1時から3時まで定例開催します。この時間帯にお越しになれば、誰かがいます(いないときはごめんなさい)。しばらく顔を拝見できなかった方の元気な顔を見せに来ていただく場でもあります。楽しく盛り上げるのは皆さんです。もちろん会員でなくてもOK。ご来場をお待ちしています。

### 5月・6月 活動スケジュール

- 5月 3日(土) 午前9時~鳩山ハイキング(住民自治会)
- 4日(日) 午前8時半~資源回収
- 9日(金) 午前9時~ハト麦の種時き作業
- 11日(日) 午後1時~3時 会員懇談会
- 18日(日) 午前9時半~フォーラム総会  
午後1時半~観察会
- 24日(土) エコフェスタ比企in鳩山
- 25日(日) 全国植樹祭
- 27日(火) 熊井の森通信42号発行
- 6月 8日(日) 午後1時~3時 会員懇談会
- 14日(土) 午前9時~アンズジャム作り
- 15日(日) 午前9時半~理事会  
午後1時半~観察会
- 24日(火) 熊井の森通信43号発行

### ■2024年度環境フォーラム総会を開催

5月18日(日)午前9時半より、かわせみハウスで「2024年度総会」を開催します。議案は(1)2024年度活動報告と収支報告、(2)2025年度活動計画と予算、(3)理事・監事名簿 以上について審議いただき承認・信任手続きをお願いします。今年度は「熊井の森自然共生保全事業」と「熊井の森自然共生こもれびファーム事業」の大きく2つの事業に分けて、活動していきます。詳細は3頁目に載せてありますので、ご覧ください。

### ■今年も「アンズジャム作り」を成功させましょう

6月14日(土)午前9時より、泉井交流体験館の調理室でアンズジャム作りイベントを開催します。今回は、体験館から歩いてすぐのアンズ畑を見学できるよう、手配をしています。お知り合いで、アンズジャム作りをやりたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。

あんず畑見学  
あんずジャム作り  
体験  
6.14(土) 9:30-13:00

美味しさいっぱいフレッシュなあんずを使ってジャムを作ります。出来上がったジャムは瓶詰めしてお持ち帰りいただきます。  
他に、あんず畑の見学や、出来立てのあんずジャムをパンやヨーグルト、紅茶と一緒に味わう軽食のお時間をご用意しております。

会場 鳩山町泉井交流体験エリア 加工体験室  
埼玉県比企郡鳩山町泉井524-1

定員 15名 参加費 一人3,000円 対象 小学生高学年以上

申し込み 5月5日(祝・月)~申し込み開始  
お問い合せ NPO法人はとやま環境フォーラムまでお電話、  
もしくはメールにてお申込みください。  
☎049-227-3001  
kawasemi3001@gmail.com

【会場アクセス】  
・電車・バスをご利用の方  
東武東上線「高坂駅」西口→鳩山町宮路線バス8:15発「上熊井・越生駅方面行」「熊井」下車すぐ  
・車をご利用の方  
関越自動車道 坂戸西スマートインターチェンジからおよそ20分(8.5km)

NPO法人はとやま環境フォーラム/熊井の森トラスト基金  
【共催】 鳩山町泉井交流体験エリア 協定管理者



## 4月の活動報告

### ■比企支部と今後の協議について話し合い

3月30日（日）午後2時より、泉井交流体験館で埼玉県生態系保護協会比企支部の方々（5人）と、当団体側（4人）とで話し合いを持ちました。これまでの経緯を確認し合い、今後は、年2回程度の話し合いをもつことで合意し、次回開催は9月になりました。

### ■今年度第1回写真学校を農村公園で開催



4月6日（日）午前9時より、鳩山町農村公園まつぼくに集合。講師の三森典彰氏ほか町内からは4人で、鶴ヶ島市、熊谷市、茅ヶ崎市など町外から10人の参加がありました。農村公園で撮影後、午後に作品の講評を受け午後3時半に終了。今回は撮影場所と講評場所が同じ公園内だったので、移動時間が削減されて好評でした。

### ■鳩山町役場に当団体の活動概要を説明

4月8日（火）午前10時より、横川勇・鳩山町総務課秘書企画室長と大嶋和仁・地域創生環境課長に、当団体の概要と今年度の活動予定をパワーポイントを使って説明してきました。当団体からは代表をはじめ4人が出席。まとまった話をしたのは今回が初めてですが、これを機に、今後、町との連携ができることを期待しています。

### ■「ツリーハウスを作ろう会」（仮称）が発足



4月13日（日）午前10時より、かわせみハウスで第2回目のツリーハウス会議を行いました。「熊井の森通信でツリーハウスづくりのを知って、一緒に作りたくなった」という親子など参加者9人。作るとしたら広さは6畳1間程度かなとか、回廊はどうする、電機大学の学生にも呼びかけようなどと意見を出し合い、この仲間たちの集まりの仮称を「ツリーハウスをつくろう会」（仮称）とすること、4月26日（日）に現地視察をすること、この活動を環境フォーラムの活動の中に入れてくれるよう申し出ることを決めました。

### ■サイサン環境保全基金授与式で他団体と名刺交換

4月19日（土）午後1時より、サイサン本社ビル（さいたま市）での「2025年度サイサン環境保全基金授与式」に2人で出席してきました。授与式では、3団体が活動報告を行い、当団体も今回の助成対象事業である「熊井の森 自然共生こもれびファーム事業」について発表しました。



活動紹介では、同助成金で2021年に作製した熊井の森での活動紹介のプロモート動画（上田恵介さん出演4分）を流し、そのあとで現在の活動事例の説明（10分）をしましたが、動画が新鮮であったようで、たいへん興味深く観ていただけた様子が伺われました。レセプションでは無農薬栽培と農福連携活動をされている坂戸市の団体、DNA鑑定を使った生きもの調査をしている深谷市の団体（近日中に来訪）など5団体と名刺交換を行い、他団体との連携に向けた足掛かりができました。

### ■協生農法のソニーCSL研究員が現地視察に



4月23日（水）午前11時、協生農法の指導を頂いているソニーCSLのプロジェクトリサーチャー・太田耕作氏が当団体を訪問。他地域での活動事例を紹介いただき、午後には熊井の森ピザ窯横の協生農法実験地を視察。引き続きご支援いただけることになりました。





手探りで始めた協生農法。マニュアルを読んだりU-tubeを見たり、実践している農園を見学するなど勉強しながら取り組んだのですが、ろくな野菜ができませんでした。しかし、指導先のアフリカで協生農法の実績を上げている太田さんからは、「1年目から成功するものではなく、3年にかかるので失敗ではないですよ。これからも情報共有しながら取り組んでいきましょう」と心強い励ましを頂きました。今年は昨年の問題点を克服し、一歩進めていきたいと思います。（井田）

### ■強力粉砕機ではとむぎ健康茶の試作品づくり

4月23日（水）9時よりかわせみハウスで、サイサン環境保全基金助成で購入した業務用強力粉砕機で、早



速稼働テスト。一度に入れる粉砕量を300g、400g、500gと3段階に分け、白黒粒の配分も違ってスイッチオン。それぞれあっという間に完了したのにはびっくりでした。パウダー状になったばかりのハト麦は独特のいい香りがして、試飲も美味しく、「これならいける」と大満足。あとはティーパック入りにするかどうかです。今年の収穫がうまくいきますように頑張りましょう！（嵯峨）



## 2025年度 熊井の森／自然共生保全事業&自然共生こもれびファーム事業（案）

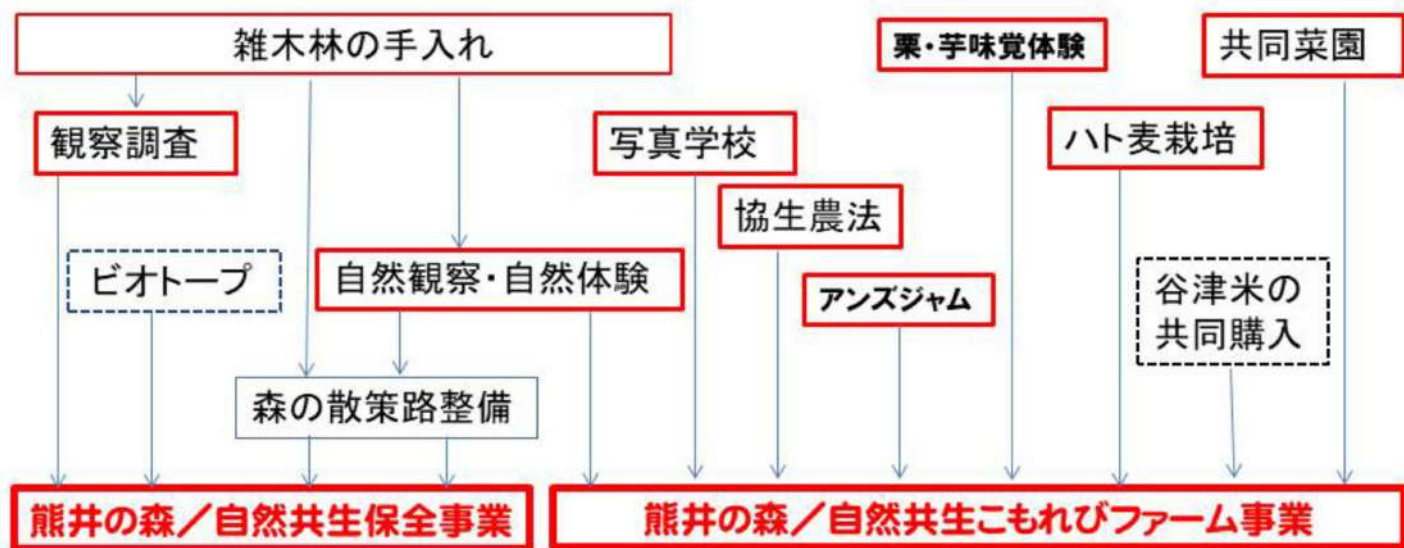
今年度からNPO法人はとやま環境フォーラムの活動は次のように区分整理して行うことを総会に提案します。

当団体の活動は、（A）かわせみハウス施設の運営業務、（B）一般業務／エコフェスタ比企、ゴルフ場農薬流出モニタリング、まちづくり懇談会、SNS発信など。そして（C）熊井の森トラスト基金活動があり、熊井の森のコアエリア（雑木林）での活動は「熊井の森／自然共生保全事

業」とし、その林縁部（水田と畑の休耕地）での活動は「熊井の森／自然共生こもれびファーム事業」とします。

（C）の活動は、2025年1月の理事会で意見の一致を見た活動方針に基づき、目指すべき里山とは何かを検証しつつ、暫定的に設けた「熊井の森のゾーニング（保護ゾーンと活用ゾーン）」に沿って、持続可能な保全活動の担い手確保につながる各種の休耕地活用イベントを行います。

### 「熊井の森トラスト基金」事業





花言葉「小さくても夢が大きい」 キュウリグサ



先日家族が近くの直売所から勿忘草（ワスレナグサ）を買ってきました。涼しいような青い小花を眺めるたび、心を癒してくれるような気がします。実は、庭先や道端にそれと似ているミニバージョンの植物があります。冬の間はふんわりとしたもじゃもじゃの丸い葉っぱは、春になると茎がぐんぐん伸びて、やがて先端から次々とライトブルーの小さい花を咲かせます。花の直径はわずか2mmぐらいで、とても見逃しやすいです。葉っぱを揉むとキュウリのようなにおいがすることから、そう、「キュウリグサ」のことです。

中国ではキュウリグサのことを「附地菜」と呼び、本草学の自家本元である『本草綱目』の中にも薬用・食用として記載され、主に免疫力促進や血流改善、胃の痛みの緩和など薬効があるようです。飢饉の時は大いに役に立ったことでしょう。まさに「小さくても夢が大きい」という花言葉の通り、目立たないけれども強い繁殖力と、いざという時の「大役」は、私が一番心惹かれるところです。よろしかったら、散歩の時にキュウリグサを探して愛でてあげてくださいね。（王 菲）

よく似た毒草もあるらしい 春の七草ホトケノザ



先日いよいよ待ちに待った4月の観察会が行われ、たくさんの春の花々を見ることが出来ました。当日は天気も良く、花が咲いていた植物だけに絞っても15種類以上見られ、他にもチョウの仲間たちや小さなアマガエルなども活動を始めていて、これぞ春の観察会と言う感じでした。そんな観察会ですが、実は下見で同じ場所に3週続けて訪れており、さらに先週初めて開花が見られた「コオニタビラコ」という黄色い花の植物を見つけていたのですが、あれだけ咲いていたのにも関わらず、当日には一切咲いておらず、春先から田起こしまでのごく短い間にブワッと咲いて種になるスタイルでうまく適応しているんだなあと感心しました。

コオニタビラコは別名「ホトケノザ」と言い、春の七草となっていますが、実は同名の植物があり、こちらも春に紫の花が咲いています。見た目が紛らわしい仲間もない上に、どこにでも生えていて目につきやすいためスマホの写真検索などですぐに名前が分かるのですが、調べると毒があると書いてある図鑑などもあるため、春の七草と同じ名前だからと無暗に口に入れるのはお勧めしません。（愛場 結偉）

## はとやま環境フォーラムの会員募集中

★2025年度会費 3,000円

■ゆうちょ銀行 店名 ○三八 店番038 普通預金  
口座番号 96656981  
口座名義 トビハツカキョウフォーラム

## 熊井の森トラスト基金へのご支援を

★1口 5000円から

<振替口座> ■ゆうちょ銀行  
記号番号 00210-4-143207  
加入者名 熊井の森トラスト基金

<普通口座> ■ゆうちょ銀行 支店 ○三八  
口座番号 9472664  
口座名義 クマイノモリトラストキキ  
(熊井の森トラスト基金)

## 定例観察会のご案内

開催日 : 毎月第3日曜日  
集合場所 : かわせみハウス前  
集合時間 : 午後1時半  
(終わりは午後3時過ぎごろ)



はとやま環境フォーラムは熊井の森のより良い在り方を探るため、月に一度、熊井の森に入り、森や周辺の変化を楽しみながら、その時々に出会えた生き物を観察記録する定例観察会を行っています。

ご興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。  
鳩山ニュータウンかわせみハウス前に午後1時半に待ち合せて、相乗りで熊井の森に向かい、帰りも一緒できます。